

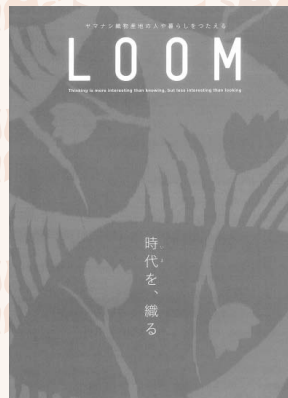
国指定の伝統工芸品へ 11 秩父銘仙こぼれ話

山梨の「郡内地域」をご存じでしょうか？一般的に、山梨の富士山といえば、海側から見た静岡の風景と競い合う、河口湖、山中湖、忍野八海など、千円札の富士山が思い浮かぶと思います。

織物関係の方はすぐに分かると思いますが、「郡内地域」は秩父と同じ千年以上の歴史を持つ織物の産地で、江戸時代から明治時代に最盛期を迎えた「甲斐絹」の生産地が都留や富士吉田周辺の「郡内地域」になります。

そして、今回は、秩父銘仙と甲斐絹は、とてもよく似た技術であることを皆さんにお伝えしようと思います。甲斐絹は羽織などの裏地に用いられる高級な絹織物として普及しました。江戸時代、寛政の改革などで華やかな織物が制限されました。外見は地味だけど裏地は超絶技巧の細い絹で織られた派手な甲斐絹が使うという粋なしつらえが流行したのです。その時に、技術力を発揮したのが「絵甲斐絹」という銘仙の解し織と同じ技術になります。先染めで、たて糸に模様を付けて織るのは同じなのですが、秩父銘仙は、模様の型を彫り、たて糸に捺染して仮織の糸を解しながら織ります。絵甲斐絹も織る前のたて糸に捺染するのは同じですが、それを織機の上、

時には手書きで行うという、他には類のない難易度の高い技術になります。また、さまざまな色の糸や柄模様加わることによって薄手の平織りとは思えない奥行きが表現されます。まさに、山梨の誇る究極の絹織物といえます。



山梨「郡内産地」の情報誌「LOOM」から 若い織手が育っている

秩父銘仙の着物地は、大正ロマン、昭和モダンのデザインをけん引しましたが、甲斐絹も、大正時代には「ほぐし甲斐絹」として同様の技術で織物を生産していました。

ここ数年、郡内地域の織物産地は若い織手が育っています。秩父も負けないように若い織手が出てきて活躍してほしいと思います。埼玉県産業技術総合センター 製品開発支援担当 影山和則

子育て教室

「イヤイヤ期を乗り越えよう」対応のヒント



イヤイヤ期は日常生活のさまざまな場面で現れます。毎日向き合っていると、思わず腹を立ててしまったり、どう対応したらいいのかわからなくなることもあります。子どもへの理解を深め、この時期を乗り越えるヒントを知り、楽しく子育てするための教室を開催します。

時15分（受付9時45分）
 ところ 秩父保健センター
 内容 臨床心理士による講話
 講師 東京理科大学カウんセラ | 臨床心理士原 聡子氏
 対象 市民（0歳〜就園前のお子さんの子育てをしている方、子育てに関心がある方等）
 定員 50人
 参加費 無料（筆記用具持参）
 ※幼児で保育を希望の方は、申し込みの際にご相談ください。
 2月28日(火)までに☎で秩父保健センター（☎22-0648）へ

小規模事業者登録しませんか

平成29・30年度において、市が発注する施設の修繕等の契約(130万円以下の工事および50万円以下の修繕)を希望する事業者の登録を受け付けます。

平成29年3月末日をもって、現在の登録有効期間が満了するため、現在登録している事業者の方で引き続き登録を希望する方も手続きが必要となります。今回の登録期間は、平成29年4月1日から平成31年3月31日までの2年間です。

※平成29・30年度建設工事等競争入札参加業者との同時登録はできませんのでご注意ください。

登録対象者

- ①市内に住民登録されている個人事業者
- ②市内に主たる事業所を有し、かつ代表者の住民登録が市内にされている法人

※そのほかにも要件があります。詳しくはお問い合わせください。

受付 随時（土・日・祝日を除く）。ただし、平成29年4月1日付で登録を希望する場合は、3月17日(金)までに手続きをしてください。

受付場所 商工課（地場産センター3階）および吉田・大滝・荒川総合支所地域振興課

提出書類 ①申請書、②資格・許可・免許等の証明書の写し、③経歴書（②が必要ない事業者の場合）、④未納税額のないことの証明書または商工課による調査を了承する旨の納税状況調査承諾書

※①・③および④の承諾書の様式は、商工課または各総合支所地域振興課で配布。（HPからもダウンロード可）

☎商工課 ☎25-5208